

令和5年度

食品ロス及びプラスチックごみ削減に向けた取り組み  
に関する協定の実施状況



令和6年7月

磐田市 ごみ対策課

## 目次

1	協定の趣旨	1
2	令和5年度の主な取組み	2
3	協定賛同事業所・店舗一覧(令和6年3月末現在)	4
4	事業所アンケート結果	
	(1)協定に関する全体的なことについて	6
	(2)食品ロス削減	9
	(3)プラごみ削減	12
5	参考(効果)	14
	(1)レジ袋	
	(2)食品ロス	

### 磐田市における食品ロス及びプラスチックごみの削減に向けた取組みに関する協定

協定賛同事業所、いわた消費者協会及び磐田市は、循環型社会の形成を目指し、ごみ減量化、二酸化炭素の削減、石油資源の節減を推進するため、これまで取組んできた「レジ袋削減に向けた取組み」が一定の成果をあげたことから、新たな展開として、それぞれの立場で相互に協力・連携して以下のとおり食品ロス及びプラスチックごみの削減に取り組めます。

- 1 協定賛同事業所は、食品ロス及びプラスチックごみの削減に取り組むとともに、取り組み状況等を磐田市へ報告します。
- 2 いわた消費者協会は、食品ロス及びプラスチックごみの削減を広く市民に呼びかけるとともに、協定賛同店が実施する食品ロス及びプラスチックごみの削減に向けた取り組みが広く市民に認知されるよう積極的に支援します。
- 3 磐田市は、協定賛同事業所が行う食品ロス及びプラスチックごみの削減に向けた取り組みについて、営業において不利にならないよう効果的なPRなどの支援を行うとともに、効果や課題を調査し公表します。
- 4 この協定に定める事項を変更しようとするとき、この協定に定めのない事項で必要が生じたとき、又はこの協定に関し疑義が生じたときは、協定締結当事者間で協議の上、定めるものとします。

令和3年6月30日

## 1 協定の趣旨

近年、プラスチックごみが河川等を通じて内陸から海へ流れ込み、生態系を含めた環境の悪化をもたらすなど大きな課題となっています。また、毎日の食事の確保も難しい人々がいる一方で、食料が大量に廃棄されている現実があります。

国ではこれらの課題の解決を目指し、資源を有効に活用し、環境を保全するため、「食品ロスの削減の推進に関する法律」や「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が制定されたところです。

本市では、10年程前からレジ袋の排出抑制を進めるため、いわた消費者協会、市内スーパーなど15社33店舗と「レジ袋削減に向けた取組みに関する協定」を締結し、レジ袋有料化やマイバッグ持参運動などの啓発を行ってきたこともあり、協力店でのレジ袋辞退率は9割を超えるなど成果を上げてきました。

また、令和3年6月14日には、活気あふれる社会環境を守り育てるとともに恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐため、2050年までに二酸化炭素の排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明しました。

この協定をもとに、これまでの取組みを活かし、循環型社会の形成に向けて市民、事業者、団体、行政が互いに連携・協力し、食品ロス及びプラスチックごみ削減に向けた取組みを進めていくものです。

## 2 令和5年度の主な取組みについて

### ① 全体的な取組み

#### 「食品ロス及びプラスチックごみの削減に向けた取組みに関する協定」を締結

令和5年9月1日に3社（8店舗）と、令和6年1月17日に1社と新たに協定を締結し、協定賛同店が21社48店舗に拡大。

ゼロカーボンシティに向けた取組みの第一歩として、市民、事業者、消費者団体、磐田市が連携して、食品ロスやプラスチックごみの削減に取り組む。



9/1 協定締結式(以下3社と締結)

(株)杏林堂薬局、(株)スギ薬局、ドン・キホーテ磐田店



1/17 協定締結式(以下1社と締結)

静岡ブルーレヴズ(株)

### ② 食品ロス削減に向けた取組み

#### 「値引きシールを集めて食品ロス削減キャンペーン」を実施

39店舗で実施（令和5年10月30日から令和6年1月11日まで）

食品ロス削減の意識啓発を図るため、事業者及びいわた消費者協会と実施。応募数は7,056通と好評、抽選で200名にエコグッズを贈呈。

#### 食品ロス削減ポップ「手前から取ってもらえるとうれしっぺい」

協定賛同店 41店・セブンイレブン 28店へ配布し、店舗商品陳列棚に掲示。（令和5年10月中旬から令和6年1月11日まで）



### ③ 10月の「3R推進月間」及び「食品ロス削減月間」に併せた普及啓発 展示コーナーの活用による啓発

3R（リデュース・リユース・リサイクル）と食品ロス削減を推進するため、市役所本庁舎やひと・ほんの庭にこっと、中央図書館展示コーナーで啓発展示を実施。

#### ミニイベントを実施

3Rと食品ロス削減を推進するため、ひと・ほんの庭にこっと、中央図書館で、食品ロス削減クイズや関連絵本の読み聞かせを行うミニイベントを実施。



#### ④プラスチックごみ削減に関する取組み

##### しっぺいの100%紙製ファイルによる啓発

ゼロカーボンシティの取組みの一環であるプラスチックごみ削減のため、100%紙製のクリアファイルを作成し、市民や事業所等に啓発。



##### 不要になったクリアフォルダーを資源化

市内で不要にクリアフォルダーを回収後、アスクル株式会社に提供し、資源化。

##### プラスチック製品（ペットボトル、トレイ等）の回収店舗を市ホームページで周知

#### ⑤広報いわた、報道等での啓発

##### 広報いわた

令和5年10月号 特集「もったいない 減らそう！食品ロス」

#### ■参考：イベント・報道等一覧

##### 【イベント等】

10/12 静岡県産業大学冠講座「磐田市における食品ロス削減の取組み」

10/27 キャンペーンPR イベント(見付どっさり市、杏林堂鳥之瀬店)

10/28 ジュビロ磐田ホームゲームにてキャンペーンPR イベント (ヤマハスタジアム)

1/27 静岡ブルーレヴズホームゲームにて食品ロス削減ブース出展 (ヤマハスタジアム)



10/27 キャンペーンPR イベント  
(見付どっさり市、杏林堂鳥之瀬店)



1/27 食品ロス削減ブース出展

##### 【報道】

9/6 中日新聞「食品ロス削減 輪広げる 磐田市など新たに3社と協定」

1/17 日経新聞「静岡ブルーレヴズ、磐田市とゴミ削減で協定締結」

1/18 静岡新聞「ブルーレヴズがゴミ削減で協定 磐田市と」

1/19 中日新聞「食品ロス削減へ 磐田市スクラム ブルーレヴズと協定」

1/19 毎日新聞「食品ロスやプラごみ削減 ブルーレヴズ、磐田市などと協定」

1/31 スポーツニッポン「静岡 BR 食品ロス削減を呼びかけ」

2/2 静岡新聞「粗大ごみ削減へ ジモティー活用 中遠広域事務組合リユース事業開始」

2/7 中日新聞「粗大ごみ削減へ発信 中遠3市町ジモティーと連携」

### 3 協定賛同事業所・店舗一覧(令和6年3月末現在)

#### 2.1 事業所48店舗(50音順)

事業所名	店舗名
ウエルシア薬局株式会社	ウエルシア 磐田岩井店
	ウエルシア 磐田白羽店
	ウエルシア 磐田富丘店
	ウエルシア 磐田豊岡駅前店
遠州中央農業協同組合	磐田南部どっさり市
	ふくの市
	見付どっさり市
遠鉄アシスト株式会社	磐田市竜洋海洋公園 レストハウスしおさい竜洋
株式会社遠鉄ストア	遠鉄ストア 池田店
	遠鉄ストア 磐田店
	遠鉄ストア 見付店
	遠鉄ストア 竜洋店
株式会社杏林堂薬局	杏林堂 上岡田店
	杏林堂 豊田駅前店
	杏林堂 豊田小立野店
	杏林堂 鳥之瀬店
	杏林堂 西貝塚店
	杏林堂 竜洋店
株式会社クリエイトエス・ディー	クリエイトエス・ディー 磐田今之浦店
	クリエイトエス・ディー 磐田福田町店
株式会社ケーヨー	ケーヨーデイツー 豊田町店
株式会社ジェイエイ遠中サービス	Aコープ 豊田中央店
株式会社食鮮館タイヨー	食鮮館タイヨー 福田店
株式会社スギ薬局	スギドラッグ 磐田中泉店
	ドラッグスギ 上岡田店
株式会社タカラ・エムシー	フードマーケット マム磐田南店
	フードマーケット マム竜洋店
株式会社とよおか採れたて元気むら	とよおか採れたて元気むら
株式会社浜松白洋舎	ジャブ 遠鉄ストア 池田店
	ジャブ 遠鉄ストア 見付店
	ジャブ 遠鉄ストア 竜洋店
	浜松白洋舎 今之浦店
	浜松白洋舎 貝塚店
	浜松白洋舎 北島店
	浜松白洋舎 豊田店

株式会社バロー	バロー 磐田店
株式会社ビッグ富士	エブリィビッグデー 磐田店
	エブリィビッグデー ららぽーと磐田店
株式会社ベイシア	ベイシア 磐田豊岡店
静岡ブルーレヴズ株式会社	
生活協同組合ユーコープ	生活協同組合ユーコープ 国府台店
ドン・キホーテ磐田店	ドン・キホーテ磐田店
マックスバリュ東海株式会社	マックスバリュ 磐田中泉店
	マックスバリュ 磐田西貝塚店
	マックスバリュ 磐田見付店
	マックスバリュ 豊田店
	マックスバリュ 福田店
ユニー株式会社	アピタ 磐田店
	ピアゴ 上岡田店

## 4 協定賛同店アンケート集計結果

令和6年3月、協定賛同店21事業所(48店舗)を対象に、協定に基づくアンケート調査を実施。

### (1) 協定に関する全体的なことについて

総回答数 21件

#### ① 「食品ロス及びプラスチックごみの削減に向けた取組みに関する協定」に参加して

ア 大変良かった	6 (約28%)
イ 良かった	13 (約62%)
ウ 良くなかった	1 (約5%)
エ まったく良くなかった	0 (0%)
未回答	1 (約5%)

#### ■主なコメント

##### 大変良かったと回答した事業所

- ・消費者の食品ロスに対する関心は高まってきており、具体的な数字は検証できませんが、キャンペーンの開催時期は値引き品、割引品の最終ロスは減少していると思われます。
- ・お客さまへの周知徹底が難しいので年間通してのキャンペーンや取組み等あればいいと思います。
- ・他の市ではこういった取組みがなかったのでとても参考になった。
- ・プラスプーン削減のお客さま周知につながりました。
- ・地域貢献
- ・食品ロスやプラスチックごみの削減に対するお客さまや店舗の意識向上にもつながっていると思います。市・企業・お客さまと一体となって環境問題に取り組んでいることはとても素晴らしいと思います。



## 良かったと回答した事業所

- ・ 社内の取り組み意識が向上した。  
磐田市の名と弊社名で、食品ロス等への啓発ポスターを作成し、店舗で掲示する。
- ・ 食品ロス削減はいかなる時代、地域においても最重要課題と認識しているため。  
(個人的意見)
- ・ 従業員の意識が高まった。
- ・ 会社方針とも合致しておりとてもいい取り組みと思います。
- ・ キャンペーンが年 1 回なのでお客さまにはもっと回数を増やしてほしいとのご意見をいただきました。
- ・ お客様の関心が高まった。
- ・ 弊社単独でなく、磐田市と連携して取り組みやすくなった。  
今後も協力できる体制を作っていきたい。
- ・ お客様、スタッフの意識が変わってきた。
- ・ スタッフの意識が上がったため、良かったです。

## 良くなかったと回答した事業所

- ・ 変化が見られない

## 未回答

- ・ 地場産品直売所の為、食品ロス及びプラスチックごみはほとんど出ません。  
残荷は出荷者が持ち帰ります。

## **② 協定に基づく取組みに関する事で、広報誌や新聞、テレビ等で報道発表されたような取組みについて**

- ・ 見付どっさり市と磐田南部どっさり市において、週 2 回こども食堂へ生産者の売れ残った商品を生産者の厚意で集めたものをお渡ししている。(遠州中央農業協同組合)

- ・1/27(土)に静岡ブルーレヴズのホストゲームにて、磐田市ごみ対策課と連携してフードドライブを実施した。

■事前告知

[【1月27日\(土\)】「SCRUM Action」PRブース出店のお知らせ | 【公式】静岡ブルーレヴズ \(shizuoka-blurevs.com\)](#)

■事後報告

[【1月27日\(土\) SCRUM Action】「フードドライブ 第3弾」実施報告 | 【公式】静岡ブルーレヴズ \(shizuoka-blurevs.com\)](#)

(静岡ブルーレヴズ株式会社)

### ③ 雑紙回収袋の事業所での配布実施意向について

ア 実施する意向がある	9 (約43%)
イ 実施する意向はない	6 (約28.5%)
ウ その他	6 (約28.5%)

#### 実施する意向があると回答した事業所

- ・レジでの配布は困難な時期もあるのでポスター等と一緒に店内に設置して配布したい。
- ・店内のサービスカウンター付近にて設置可能です。(店舗へも確認済みです)
- ・専用の人員を常に用意できるものではないので、雑紙から紙袋になるまでの流れが説明されているポスターのようなものがあるとありがたいです。

#### 実施する意向はないと回答した事業所

- ・店舗スペースに余裕がないため実施する意向はありません。
- ・現状、店舗において雑誌・新聞等のリサイクル回収を実施しているため。

#### その他と回答した事業所

- ・検討中です。
- ・配布枚数によっては協力可能と考えます。
- ・回収場所の問題から現時点では未定です。
- ・店のスケジュール等もありますので具体的なことがわかればその時にご相談いただければと思います。
- ・場所確保の問題あり、現状正確な回答できません。(申し訳ありません)
- ・本部の回答次第です。

(2) 食品ロス削減の取組み

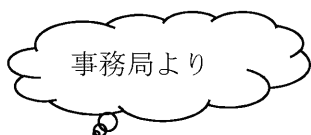
回答数 食料品を扱う20事業所(42店舗)

(太字は R5 新規の取組み)

項目	実施状況	各事業所の主な取組内容、効果
<p>(1) 賞味期限間近な食料品の割引販売 (食品ロス削減啓発ポップの掲示など)</p>	<p>38/42 (90%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロス削減ポップ、日配商品、棚 (ケース) に掲示。</li> <li>・ポップ掲示</li> <li>・POP を作成し、専用売場を設置。廃棄処分が減少した。</li> <li>・値引き理由 POP を作成し、専用売場にて販売。廃棄処分が減少した。</li> <li>・食品レスキュー売り場の展開をおこない、廃棄量の減量につながる。</li> <li>・消費者への特別な案内はしていないものの、自店でいかに廃棄ロスが減るかは考えて行動している (値引き率・値引き率を随時変更)</li> <li>・廃棄ロスが減るように (売れ残らないように) 値引き率・値引き開始時間を随時変更。効果はある。</li> <li>・菓子売場等に食品ロス削減 POP を取り付けた。定期的な賞味期限確認をおこない、値引きシールを取付け、食品ロス削減に努めた。</li> <li>・値引きシールの積極貼付</li> <li>・値引きシール商品のアピール・拡販 (廃棄商品を無くす取組み)</li> <li>・コーナーを設置したりして、店頭での告知認知が広がっています。廃棄がほとんど発生しなくなりました。</li> <li>・廃棄ができるだけ少なくなるよう、値引きのタイミングに注意した。</li> <li>・当日に売り切りが必要な商品については、商品の売れ行きや当日の気候 (天気や気温)、お客様の動向・見通し、時間帯などを考慮しながら、商品の見切り販売を実施。その他加工品等についても賞味期限のチェックを行い期限内に売り切るようにしています。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・賞味期限間近の加工食品には、値引きシールを付け販売しています。ほとんど完売しています。</li> <li>・値引商品のコーナー展開</li> <li>・おつとめ品コーナーを設置し賞味期限間近な商品を集約して販売</li> <li>・会社のルールに則って賞味期限、消費期限の近いものは値引き、割引販売を行っています。</li> <li>・廃棄削減</li> <li>・値引きシールを売り場からはがされる行為が多発しています。値引き品を購入したレシートに代替するなどキャンペーンを別の形式にしてください。</li> </ul>
(2) 値引きシールキャンペーンへの参加	39/42 (93%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発パンフレットをサービスカウンターにて配布</li> <li>・具体的な数字計測はないが、効果実感はある。</li> <li>・具体的な数字は検証しづらいものの、値引き、割引商品の最終廃棄は減少していると思われま。</li> <li>・具体的な削減量の把握は行っていません。廃棄自体の削減にはなっていると思います。</li> <li>・お客様に対して食品ロス意識の向上ができた。</li> <li>・お客様への食品ロスの啓発ができた。</li> <li>・期限切れ前商品を、同施設内のレストランへ提供しての有効活用（弁当・惣菜に）した。</li> <li>・廃棄量不明</li> </ul>
(3) 期限切れ前商品のフードドライブへの寄付	4/42 (10%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>週2回こども食堂への寄付を行った。</b></li> <li>・1/27（土）静岡ブルーレヴズのホストゲームにてフードドライブを実施した。フードバンクふじのくにへ寄付。100品目 9.4 kg</li> </ul>
(4) ばら売り、量り売り、少量パック等による食料品販売、規格外品の割引	20/42 (48%)	(41%) ばら売り (46%) 少量パック (18%) 量り売り (18%) 規格外品割引

(5) 期限切れ食品や調理くずの有効活用	1/42 (2%)	・青果の葉物の外葉や魚のあらは回収されて別業者にて2次使用（飼料 etc）
(6) 利用客対象の啓発講座の開催	7/42 (17%)	・リサイクル工場見学 ・店内にレシピカード（配布用）あり ・リサイクルの正しい分別回収のお願い
(7) 各店の広報誌、CM等による啓発	6/42 (14%)	・手前どり POP や食品レスキューPOPの設置
(8) ふじのくに COOL チャレンジ「クルポ」事業の協力	6/42 (14%)	・店頭リサイクルにて実施。 ・店頭リサイクルにてQRコードによる参加を実施。 ・店頭リサイクルボックス設置場所にて啓発販促物を掲示。 ・ポスター掲示 ・3/23（土）静岡ブルーレヴズのホストゲームにて「クルポ」のポイントが取得できるスポットを設置予定。
(9) その他各店独自の取組み	0/42 (0%)	
(10) 上記(1)～(8)について今後、新たに取組む予定があれば記入して下さい。	0/42 (0%)	



令和5年度から取組み内容に(8)ふじのくに COOL チャレンジ「クルポ」事業の協力という項目を追加させていただきました。以前より実施されていた店舗様もあるかと存じますが、店頭回収やイベント実施時の設置など、ご報告ありがとうございます。

(1) 賞味期限間近な食料品の割引販売（食品ロス削減啓発ポップの掲示など）、(2)値引きシールキャンペーンの参加など特に多くの店舗様に実施いただきました。値引き品コーナーの設置や売り切りのための値引きのタイミングなど、様々な工夫をされていますので、ぜひ協定店舗内で情報共有の場を設けて、さらに取組みを展開していかれたらと考えております。

令和6年度は、各店舗での取組みの詳細や、事務局への要望など意見交換できる情報交換会の実施を検討していますので、ご都合が合えばぜひご参加いただきたく存じます。

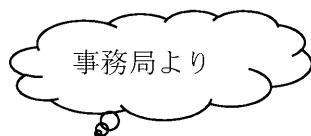
### (3) プラスチックごみ削減の取組み

回答数 21事業所 (48店舗)

(太字は R5 新規の取組み)

項目	実施状況	各事業所の主な取組内容、効果
(1) プラスチック製品の回収へのポイント付与、店頭回収推進	6/48 (13%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店頭にペットボトルや食品トレーの回収ボックスを設置し、買い物時に持参いただける環境の整備。</li> <li>・リサイクルステーションにてペットボトル自動回収機設置 1本=0.2Pにてポイントを付与。</li> <li>・ペットボトルの回収を行っています。</li> <li>・トレイ回収は行っているが、ポイント付与はしていない。</li> </ul>
(2) マイバッグ持参の呼びかけ (レジ袋の削減) 【令和6年1月分のレジ袋辞退率】	27/48 (56%)	<p>レジ袋辞退者数/レジ通過客数×100 = %</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <math display="block">\frac{952,412}{1,060,468} \times 100 = 89.8\%</math> </div>
(3) 詰め替え商品の購入の呼びかけ	11/48 (23%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャンプー・ボディソープ等にて販売促進を実施。</li> <li>・詰め替え商品を中心とした特売を行っている。</li> <li>・売場構成を詰め替えに変更。</li> <li>・POP設置、チラシ周知など。</li> <li>・レジでの呼びかけ</li> </ul>
(4) 環境に配慮した素材 (プラスチックに代わる素材) の積極的な活用	10/48 (21%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>エコ素材を使ったチームのグッズ開発・販売も積極的に行っている。</b></li> <li>・レジ袋について植物由来のプラスチックを25%、石灰石を25%使用したレジ袋を採用しておりCO<sub>2</sub>削減に努めている。</li> <li>・デザートスプーンや有料レジ袋等を環境に配慮したものを活用</li> <li>・木製スプーン、フォーク</li> <li>・グリーン購入の実施</li> </ul>
(5) 包装の簡素化	11/48 (23%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>トレーなし商品の販売</b></li> <li>・プライベートブランドの飲料でラベルレスペットボトルの販売</li> <li>・トップバリュ水やサントリー茶飲料にてラベルレスケース売りを実施。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・水</li> <li>・いろはす販売</li> <li>・スタジアム来場者へは、マイバック運動を呼び掛けている。</li> </ul>
(6) 利用客対象の啓発講座の開催	1/48 (2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルの正しい分別回収のお願い</li> </ul>
(7) 各店の広報誌、CM 等による啓発	0/48 (0%)	
(8) 廃棄予定のクリアファイルの資源化	0/48 (0%)	
(9) ふじのくに COOL チャレンジ「クルポ」事業の協力	7/48 (15%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店頭リサイクル設置場所にて啓発 POP を掲示</li> <li>・3/23（土）静岡ブルーレヴズのホストゲームにて「クルポ」のポイントが取得できるスポットを設置予定。</li> </ul>
(10) その他各店独自の取組み	11/48 (23%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイバスケットの推進</li> <li>・牛乳パックの回収</li> <li>・プラスチックの「ご入用でしょうか？」との声かけをしての配布とその旨の掲示</li> <li>・分別の促進</li> <li>・従業員のマイバック利用促進</li> <li>・プラごみ削減商品の周知など</li> </ul>
(11) 上記(1)～(8)について今後、新たに取組む予定があれば記入してください。	0/48 (0%)	



プラスチックごみ削減の取組みにつきましても、令和5年度から取組み内容の項目に(8)廃棄予定のクリアファイルの資源化、(9)ふじのくに COOL チャレンジ「クルポ」事業の協力を追加させていただきました。

例年調査依頼させていただいているレジ袋辞退率は89.8%(令和4年度は89.4%)で、各店舗様の呼びかけ及び市民の皆様のご協力により高い数値を維持しております。さらなるプラスチックごみの削減に向けて、こちらも各店舗様の取組みの詳細や事務局への要望などをお伺いし、今後の取組みに反映させていきたいと考えております。

## 5 参考（効果）

### （１）レジ袋削減に向けた取組みの効果（推計）

取組内容：マイバッグ持参の呼びかけ（レジ袋の削減）

対象店舗：協賛店 21社（48店舗）

取組期間：通年

推計方法：令和6年1月（1か月間）の各店レジ袋辞退率を調査

- ・レジ袋辞退率 約90% = (約105万人 - 約10万人) / 約105万人  
1か月の (店舗全体客数 - レジ袋購入客数) / 店舗全体客数
- ・レジ袋削減枚数 1か月で約95万枚 → 1年間換算で約1,140万枚
- ・レジ袋削減効果（見込み） レジ袋1枚当たり10グラムと仮定して計算

1年間で約114トンのレジ袋を削減（見込み）

### （２）食品ロス削減に向けた取組みの効果（推計）

取組内容：値引きシールを集めて食品ロス削減キャンペーン

対象店舗：協賛店のうちキャンペーンに参加した食品取扱店 17社（39店舗）

取組期間：令和5年10月30日～令和6年1月11日（約2か月間）

推計方法：キャンペーン応募総数から値引きシールが貼られた商品の購入数を把握

- ・応募総数 約7,000通×値引きシール5枚 = 35,000商品
- ・食品ロス削減効果 1商品あたり500グラムと仮定して計算

2か月間で約17.5トンの食品ロスを削減（見込み）

## 廃棄物の発生を抑制し、循環型社会の形成へ

ゼロカーボンシティに向けた取組みの一環として、今後とも本協定に基づき食品ロス・プラスチックごみの削減に向けた取組みを進めていきますので、市民、事業者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

磐田市 環境水道部 ごみ対策課

〒438-0061 静岡県磐田市刑部島301

（磐田市クリーンセンター内）

TEL : 0538-37-4812 / FAX : 0538-36-9797

E-mail : gomi-taisaku@city.iwata.lg.jp